

図書館アルバム



今年は暖冬なのでしょうか。雨上がりの朝、庭に出ると早くも春の気配を感じます。

さて今回は、2学期に行われた「第4回ビブリオバトル」の様子をお伝えしたいと思います。どうぞご覧ください。



ビブリオバトルも今年度で4回目となりました。

後期図書委員会恒例のイベントとなりました。

開催にあたり、まずはバトルー募集から始めました。



4年生による予選大会に向けて、練習にも熱が入ります。



紹介する順番はくじ引きで決めます。

くじを背おう雪だるま。



令和元年11月28日（木）、図書室での予選大会の様子。
1年生も観戦に来てくれました。

「これからビブリオバトル予選大会を始めます。」



トップバッターは、Tくん。紹介本は『うちの三姉妹』

「好きな登場人物は、母とチーとスーです。

母は突っ込みが面白くて、チーとスーは、なんとなく自分と似て
いるところがあるからです。」



Mさんの選んだ本は『とらのさんきょうだい かえうたかえうたこいのぼり』。

「いろんなこいのぼりがいたな、みんなにみせたいな、と思ってこの本にしました。」



K君は、『ぜんぶホント！生命のふしぎ 泣けるいきもの図鑑』を紹介してくれました。

「生き物には、泣けるような一面もあったり、そのまま悲しいとおもうこともあったので、そうゆうことがわかる本だと思いました。」



Kくんが紹介してくれたのは『石ノ森章太郎』。

「石ノ森章太郎のすごさを、日本中の人に知らせてあげたいです。」



Jくんが紹介してくれたのは、『失われた文明の大百科』。

「海を渡ったピラミッドがすごかったです。ここがそのページです。」



Aさんが選んだ本は、『よい子への道』。

「この本には、いろいろなにかしらいたずらやおもしろいことをする子どもたちが登場します。」



Kさんは、『チリとチリリ まちのおはなし』を紹介してくれました。

「いろいろな音やにおいがして、その町にわたしも住みたいなと思いました。」



本の紹介後、代表者を決める投票を行いました。



そしていよいよ12月13日（金）の本選大会。

図書委員による司会進行です。

「これから『第4回ビブリオバトル本選』をはじめます！」



一人3分の持ち時間でお気に入りの本を紹介。

最初のバトルは、Aさんです。

予選大会から約2週間、さらに練習を重ねてきました。



2分間の質問タイム。

「Aさんは、ほかに好きな場面はありますか？」



2番目のバトルはKくん。堂々と紹介してくれました。



ビブリオバトルは「自己表現能力」を磨くための活動。

それは「生きる力」であり、「他者を生かす力」ともなります。

そして「自己表現」は、「生きるよろこび」です。



ラストを飾ったのは、3年生のSくん。

『ロビンソン・クルーソー』で戦いに挑みます。

「ぼくはロビンソン・クルーソーのものを作るところが好きです。」



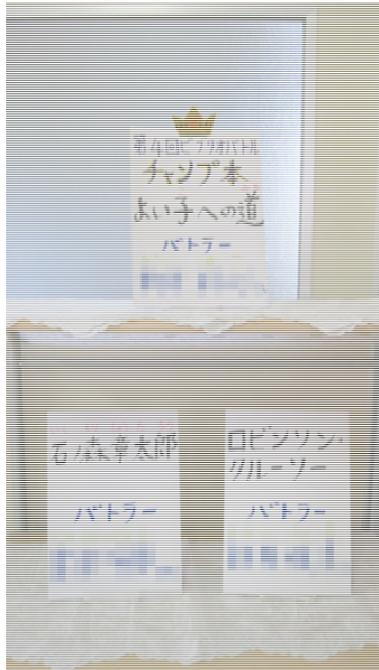
クイズで会場が盛り上がりました。



「みなさん、いかがでしたか？どの本も面白そうですね！3人のバトルに
もう一度おおきな拍手を送りましょう！」



「どの本にしようかな・・・」投票の様子。



3冊の紹介本は図書室入り口に展示してあります。

友達が紹介してくれることで、本はあっという間に魅力を増すようです。

その日のうちに、貸し出しとなりました。



図書館アルバムでした。

図書司書 淡路